

## 6. 水辺空間等の整備・活用に関する施策

### 6 - 1 . 施策の目標と体系

#### (1) 施策の目標

「人、まち、そしてみんなの思いをひとつにつなげる 隅田川」の実現に向けて、区民、事業者、行政などが互いに連携・協働し、それぞれが主体的に行動していくための施策の目標を次のように設定します。

##### 水辺と市街地との一体的な空間形成

水辺とまちとのつながりをより緊密にし、美しい隅田川を取り戻すため、防潮堤の改築（高規格堤防化）や道路網の見直しなどを長期的な視点から進めます。

##### アクセス性・回遊性の向上

隅田川を軸にした地域連携の促進や回遊性の向上を図るため、ディズニーリゾートやお台場などからの誘客も視野に入れ、新たな船着場の整備や水上バスルートの充実ほか、北十間川～隅田川など江東内部河川を含めた舟運の可能性を関係機関と検討します。

駅などから隅田川に容易に行くことができるように、また、隅田川と主要な観光資源が上手く連携できるように、隅田川へのアクセス手段や回遊ネットワークの充実を図ります。

##### 水辺の歩行者ネットワークの充実

隅田川に沿って散策やサイクリングを気軽に楽しめるように、隅田川に至る歩行経路・空間の充実、親水テラスや堤防上の通路の充実やユニバーサルデザインへの配慮を行います。

##### 魅力的な施設・空間の整備

隅田川に行ってみたいと思わせるため、川沿いにある公園や橋詰広場の充実、魅力的なお店や集客施設の誘致などを行います。

##### 歴史・文化資源の活用

隅田川沿川地域の回遊性をより高めるため、歴史・文化資源などを保全・活用するとともに相互に連携させることにより、新たな観光資源の掘り起こしを行います。

### 水と緑の景観整備

美しい水辺景観、快適な水辺環境を創出するため、沿川市街地の景観整備、水辺の緑化や美化などを積極的に進めます。

### 水辺のイベントの充実

賑わいのある水辺とするため、イベント空間の整備・充実を行うとともに、水辺を舞台とした様々なイベントを企画・実施します。

### 案内性の向上

まちを訪れる人が、隅田川存在を再認識し、行ってみたいと思うように、観光案内所の設置、案内板等の充実などを行います。

### 区民、事業者等との協働

より多くの人々が、隅田川に対する関心や意識を高め、隅田川で展開される様々な活動に参画・協働できるように、積極的な情報発信を行うとともに、組織づくり、人づくりを行います。また、各種支援などを進めていきます。

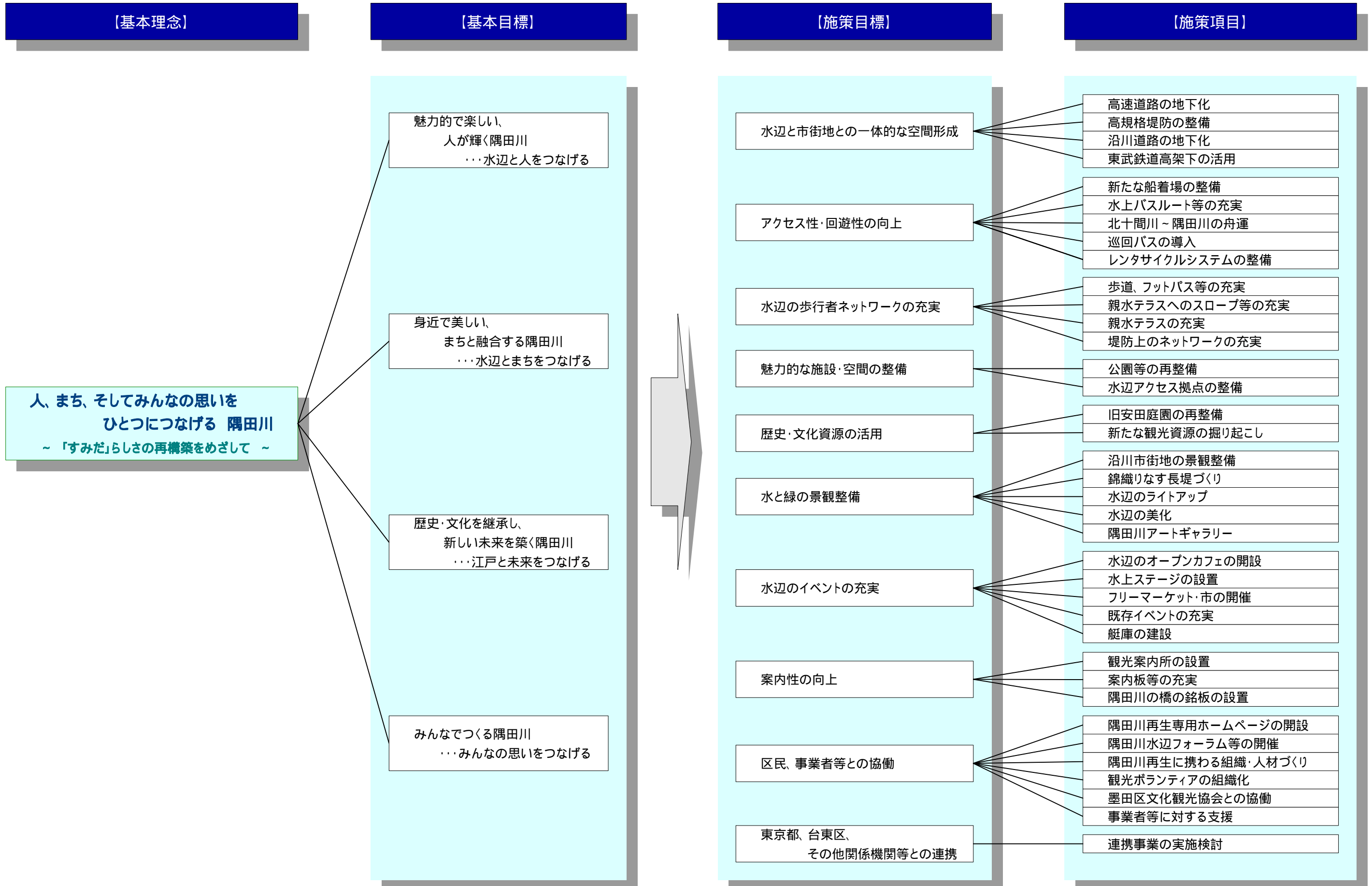
### 東京都、台東区、その他関係機関等との連携

東京都及び隣接する台東区や江東区、その他関係機関などと連携して行うことが望まれる事業について、その具体的な連携のあり方を協議していきます。

## (2) 施策の体系

施策の目標と個々の施策項目との関係を、体系的に整理すると、次のようになります。

施策の体系



## 6 - 2 . 施策の内容

### (1) 水辺と市街地との一体的な空間形成

#### 高速道路の地下化

水辺と市街地との大きな分断要素であり景観・環境面での阻害要素ともなっている高速道路は、長期的な視点から地下化等を検討し、高規格堤防との一体的な整備を目指します。

#### 高規格堤防の整備

市街地と水辺との一体的な空間形成を実現するため、長期的な視点から高規格堤防の整備を誘導します。



吾妻橋下流部分。水辺と市街地を分断する高速道路。区民等から景観上、環境上も好ましくないとの指摘が多く寄せられている。

対岸の荒川区の隅田川の水辺空間。高規格堤防整備により水辺と市街地との一体的な空間形成が行われている。高速道路がないため開放的な空間となっている。

中央区内の高規格堤防の整備区間。テラス、堤防、ビルが一体的に整備され、良好な空間形成がなされている。

#### 沿川道路の地下化

隅田公園と隅田川との一体的な空間形成を目指して、堤防沿いの道路の地下化（高規格堤防化）を関係機関と検討します。



隅田川（左側）と隅田公園（右側）の間に墨堤通り及び高速道路が走っており、一体的な空間形成と利用を阻害している。将来的には高速道路の地下化が望まれるが、まずは、車を気にせずに公園と堤防を自由に行き来できるようにするため、墨堤通りの地下化などを検討することが望まれる。

### デュッセルドルフ(ドイツ)の道路の地下化の事例

堤防上のプロムナード。歩道、並木、自転車道が整備されている。



河畔のオープカフェ。天気の良い日は多くの市民や観光客で賑わう。



ライン川と市街地を分断していた連邦道路約 2.6 kmを地下 2 層のトンネルとし、川岸をプロムナードとして活用している。

1979 年から市街地の分断、道路混雑、環境悪化などについて議論され、州議会がライン川沿いに建設されたことをきっかけに、1987 年から計画・設計に着手。1993 年竣工（工期 4 年）。

現在のプロムナードは多くの市民に利用され賑わっている。



(図面出典：「欧州 都市のリノベーション調査報告書」(平成 9 年 8 月 インフラストラクチャー研究会))

### ボストン(アメリカ)の道路の地下化の事例 (ビッグディグ)

ビッグディグ(The Big Dig)は、アメリカのボストン都心部を高架で通過する高速道路(セントラル・アーテリー)の地下化を中心とする総事業費約 146 億ドルのプロジェクトである。

セントラル・アーテリーは、1959 年に開通したが、市街地を分断することなどから反対運動が起き、1970 年代には地下化が検討されていた。

1987 年に連邦議会が事業計画を承認、1991 年から工事が開始された。2004 年には高架建築物が撤去され、2005 年には全ての区間が開通し、跡地(延長約 2.5 km、面積約 16ha)の空間整備が進められている。



(写真出典：Massachusetts Turnpike Authority パンフレット)

### 都立大島小松川公園における道路の地下化の事例

荒川と平行して計画されている都市計画道路補助 122 号線をボックスカルバート化(L=110m)し、大島小松川公園と千本桜・荒川を一体化している。

これによって、道路を横断することなく、水辺空間へのアクセスが容易になっている。

また、非常時には公園から荒川河川敷への一時避難が容易になり、荒川を利用した船舶や緊急河川敷道路を利用した車による災害物資の運搬にも役立つ。

(写真出典：荒川下流河川事務所 HP)



## 東武鉄道高架下の活用

隅田川と北十間川の連携を高め、水辺と市街地との一体性を高めるため、北十間川沿いの東武鉄道高架下の活用を関係機関と協働して進めていきます。



写真左側は、隅田公園。高架沿いの道路は交通量が少ない。

隅田公園～道路～高架下を上手く使えば、公園と水辺が一体化した、魅力的な空間を生み出すことも可能である。



北十間川と並行する東武鉄道の高架。

高架下は、東武鉄道の関連会社、倉庫、駐車場などとして使われているが、新タワーの誘致にあわせ、北十間川の水辺空間を活用した、集客効果の高い魅力的な施設の誘導も考えられる。

### 区民などから寄せられた高架下の活用に関するアイデア（抜粋）

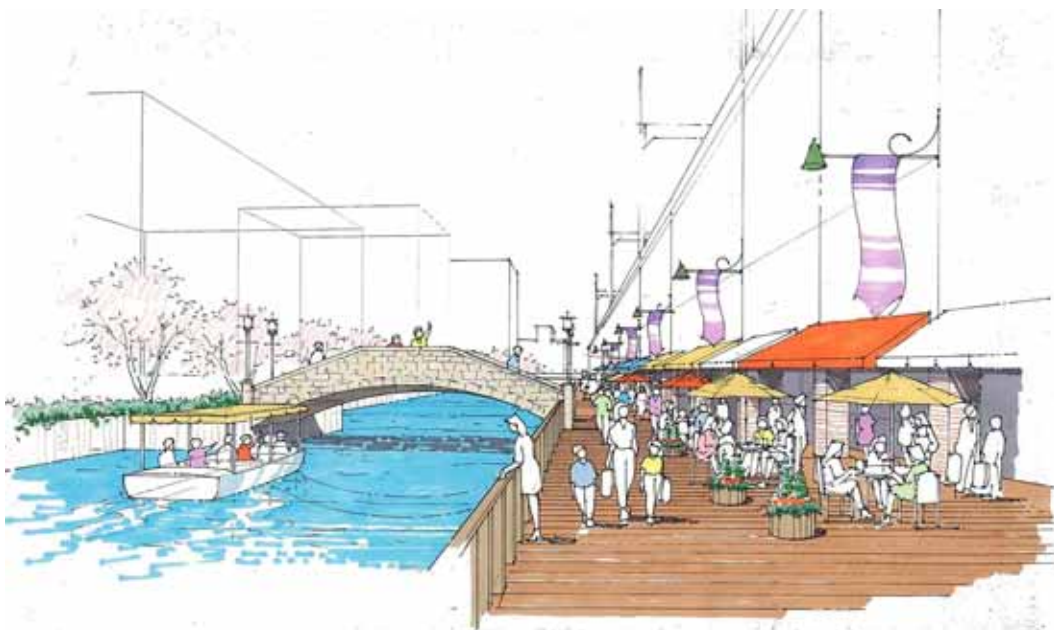
#### 【高架下のミニショッピングモール化と北十間川のオープンテラス化】

- 建物の中に通路があり、店舗等が並ぶ回遊できる空間
- 北十間川側はシンガポールのポートキーのようなオープンテラス空間
- ステキな音楽と食事、おしゃれな屋台もOK

#### 【チャネルアートパーク（憩いとアートの水路）】

- 川に開いた店・施設、地域小売店の出店（仮設店舗、屋台）アーティスト・ショップ
- 多様性・変化のあるアート回廊、連鎖性のある施設配置
- 水路の一部を埋立て、インナーモール化
- 水と緑のランドスケープ

### 東武鉄道高架下の活用イメージ



## (2) アクセシ性・回遊性の向上

### 新たな船着場の整備

水上バスルートの充実を図るため、区役所前（吾妻橋周辺）の防災船着場を活用して、水上バスの新たな船着場を整備します。

現在の防災船着場。  
船着場の長さが短く、水上バスなどが安全に接岸することができない。また、船着場をつなぐ柱の老朽化やバリアフリーに対応していないなどの問題がある。  
災害時の帰宅困難者輸送、物資輸送など、防災時の輸送力の面からも機能強化が必要と考えられる。



### 水上バスルート等の充実

両国及び区役所前（吾妻橋周辺）を経由する新たな水上バスルートの開設を推進します。  
両国～区役所前のワンコインクルージングや厨房設備を備えた船によるディナークルーズ等を実施することも考えられます。  
また、小回りのきく、水上タクシーなどを運行することも考えられます。

### 魅力的な水上交通の事例



【ミュージアムボート(アムステルダム)】  
アムステルダムの運河を巡るミュージアムボート。運河沿いに点在する美術館等を回遊するコース設定を行い、乗降自由のフリーパスを販売。このほか、ディナークルーズ、キャンドルクルーズなど、様々な企画もののボートが運航されている。



【レストラン船】  
水上バスの魅力を高めるために、レストラン船などの運航も。

### 【6本の川を行き交い、街と街を結ぶ雁木タクシー】

広島では、市内に点在する雁木（生活物資の運搬船などの船着場として利用されていた川の護岸の階段）を活用して、NPO法人雁木組が雁木タクシーを運行している。  
乗降場は、原則として25カ所の雁木で、料金は1人500円（10分ごと）となっている。

### 船着場を中心とした“川の駅”等の形成も

「川の駅」は、川によって結ばれた地域が、情報を共有するためのネットワーク拠点であるとともに、川をテーマとして人と人が交流を深める拠点。  
隅田川や北十間川の船着場周辺を「川の駅」、「まちの駅」などとして位置づけることも考えられる。

（出典：まちの駅連絡協議会HP）



## 北十間川～隅田川の舟運

新タワー～隅田川～浅草の連携を意識して、東京都とも連携して、北十間川～隅田川を結ぶ新たな水上交通を検討します。あわせて川沿いの歩行者ネットワークの充実を図ります。



北十間川の源森橋上流。  
川沿いに歩行空間は整備されていない。



小梅橋上流にある北十間川樋門。低地部を水害から守るため、この樋門で水位調整（低下）を行っている。現在、隅田川側から船が入れるのは、この樋門までである。

### 北十間川で舟運を実現する上での課題

隅田川と新タワーとを結ぶ、北十間川への舟運については、区民等からも多くの意見が出されている。しかし、実現にあたっては、次のような課題をクリアしていく必要がある。

- ・ 現在ある樋門をどうするか
- ・ 樋門を境にした水位差をどうするか
- ・ 船の大きさ等をどうするか（隅田川を安全に運行でき、北十間川の橋の下をくぐる船）
- ・ 隅田川に戻るときにどこで船を転回させるか
- ・ 護岸整備をどうするか

### 開門の海外事例

#### 【サンマルタン運河（フランス）の開門】

水位差のある運河を、開門により水位調整を行い、舟運を可能としている。開門は観光名物ともなっており、水位調整しながら船が通過する様子を眺める人も多い。



#### 【カムデンタウン（イギリス）の開門】

ロンドン、カムデンタウンの開門（カムデンロック）。週末は運河沿いでフリーマーケットが開催され多くの人で賑わっている。



#### 【アルスターフルーツ（ドイツ）の開門】

ハンブルグのアルスター湖とエルベ川の間設けられた開門。





## 巡回バスの導入

墨田区観光振興プランでは、まち歩きをサポートする手段として巡回バスの運行が位置づけられています。隅田川を軸とした観光を振興するため、この運行ルートに隅田川沿いの主要拠点も組み込んでいくことを検討します。

また、台東区側の循環バスとの一体的なバスの運行を検討していくことが望まれます。

台東区の循環バス「めぐりん」



台東区では、平成 13 年 6 月より循環バス「めぐりん」が運行されている。平成 16 年 4 月からは「めぐりん」が「北めぐりん」になり、新たに「南めぐりん」が運行を開始し、平成 18 年 4 月からは「東西めぐりん」の運行が予定されている。

乗車料金は、大人、小児とも 1 乗車につき 100 円である。

巡回バスルートの一例



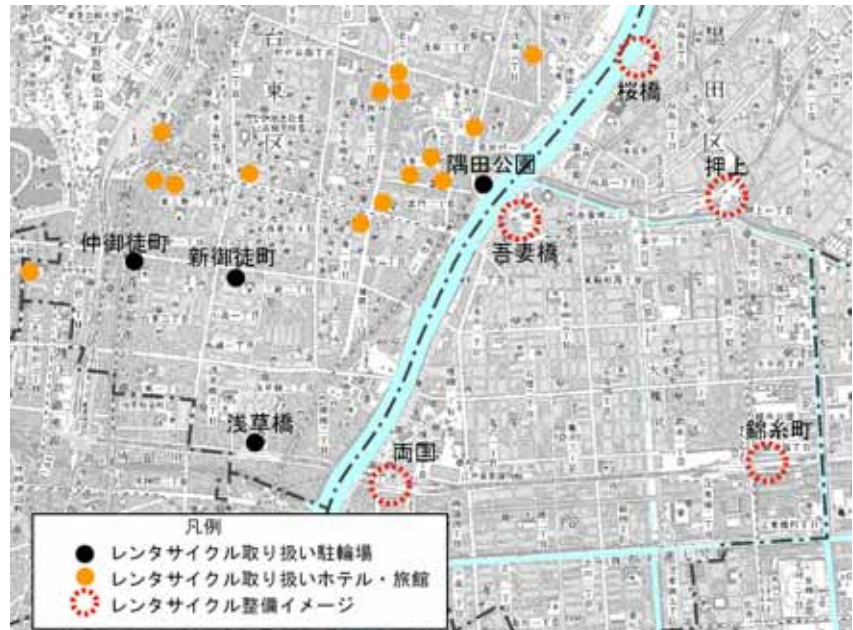
主要駅や水辺の賑わい拠点などを結ぶ、このようなバスルートも考えられる。

## レンタサイクルシステムの整備

隅田川沿いのサイクリングや隅田川を起点とする自転車でのまちなか観光を促進するため、水上バス乗り場、水辺の主要拠点、主要駅などにレンタサイクル貸出所の設置を進めます。

台東区のレンタサイクルシステムと連携することにより、一層の利用性や回遊性の向上が期待されます。

台東区のレンタサイクルシステムとの連携イメージ



台東区と連携して、まずは主要駅等にレンタサイクルの貸出所を設けることが考えられる。

利用状況を見ながら、貸出所を増やしていくことも考えられる。

## 台東区のレンタサイクルシステム

台東区では、台東区へ訪れる観光客などが気軽に区内を散策できるよう、平成16年11月より、区の駐輪場（3箇所）に加え、区内14館のホテル・旅館でレンタサイクルの貸出を開始している。



利用時に必要なもの	(1)利用料金 (2)身分証明書(在住・在勤の分かるもの)	
利用料金	1日200円／3日300円／7日500円／1ヶ月2,000円	
利用時間	貸出開始から24時間単位 ※延長時は1日料金を単位として徴収	
利用案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用期間中の「家への持ち帰り」と、「利用者の家族に限った共同利用」が可能になりました。</li> <li>・貸出時に申請することで、「借りた貸出所以外の貸出所への返却」も可能となりました。</li> <li>・定期利用(1ヶ月)をご利用の方は、ご契約した駐輪場および新御徒町駅自転車駐輪場に限り自転車を駐輪することができます。</li> </ul>	
レンタサイクル利用自転車駐輪場	隅田公園自転車駐輪場	<a href="#">詳細</a>
	浅草橋自転車駐輪場	<a href="#">詳細</a>
	新御徒町駅自転車駐輪場	<a href="#">詳細</a>
	仲御徒町駅自転車駐輪場	<a href="#">詳細</a>
※各自転車駐輪場のレンタサイクル貸出時間に注意してください。詳しくは各自転車駐輪場詳細へ		

### (3) 水辺の歩行者ネットワークの充実

#### 歩道、フットパス等の充実

市街地から隅田川に至る歩行者ネットワークの充実を図ります。

誰もが安全に気持ちよく歩けるように、段差や障害物がない、ゆとりのある歩行空間を確保するように努めます。必要に応じて電線類の地中化等も進めます。

路地などを活用した歩行者専用道路（フットパス）などの整備も進めます。



両国駅から隅田川に向かう歩行ルートの一つ。行き止まりのため、車の通行量は多くない。車道を狭めて駅からの歩道を設置することも考えられる（カラー舗装などをすれば駅からの誘導性・案内性も高まる）。



松本市内の路地路地などを活用して、隅田川と市街地をつなぐ歩行者専用ルートを確認することも考えられる。



北斎通りからつながる江戸東京博物館前の通路。ここは、緑豊かな歩行空間が確保されているが、この先（隅田川方向）は、緑もなく殺風景な道路（右側の写真）となっている。



江戸東京博物館から隅田川に至る道路。北斎通りから隅田川に至る軸として、歩行空間の充実が望まれる。交差点正面周辺を公園的に整備できれば、隅田川へのアクセス性の向上が期待できる。

#### 親水テラスへのスロープ等の充実

水辺に近づきやすくするため、堤防上から親水テラスへのスロープ等の設置を進めます。



階段でしか降りられない両国の水上バス船着場。水上バスの利用性を高めるため、スロープの設置工事が行われている。



蔵前橋上流部の親水テラスへ降りるための階段。堤防をまたぐような形で両側に階段がついている。



区役所前の親水テラスに降りる緩やかなスロープ。将来的には、全区間で適当な間隔で、このようなスロープを設置していくことが望ましい。

## 親水テラスの充実

水辺の歩行者ネットワークの連続性を向上させるため、親水テラスの充実を進めます。

### 親水テラス等の整備状況



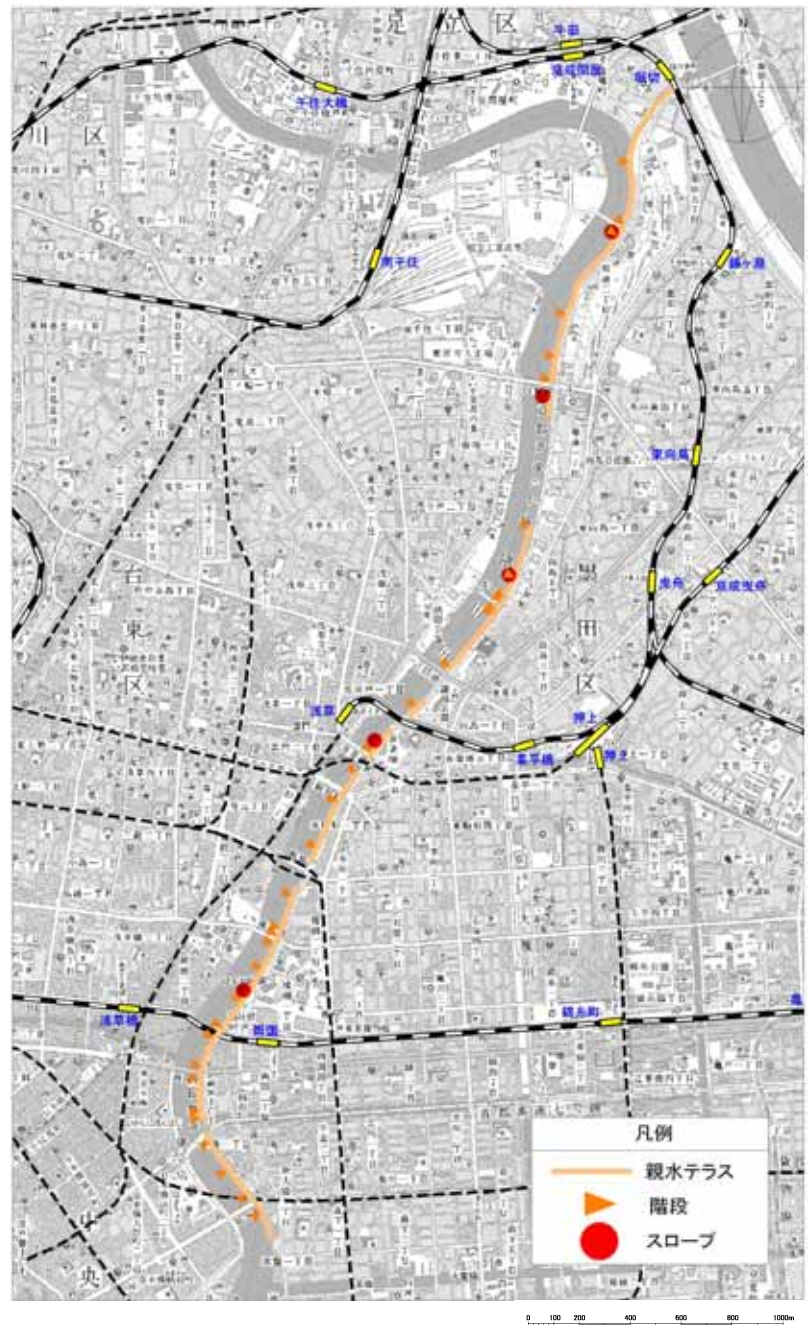
桜橋周辺の連続性のあるテラス。しかし、奥に見える言問橋でテラスの連続性が途切れている。



吾妻橋上流部分。  
ここでテラスが途切れている。  
橋の下を通れるように、テラスの整備が急がれる。



吾妻橋下流部分。  
最近、テラスの基礎の整備が完了した。



## 堤防上のネットワークの充実

堤防上の通路で連続性が欠如している部分については、連続性を確保するための方策を関係機関と協議します。

通路としての魅力を高めるため、堤防などにより水面が見づらい部分（両国橋～吾妻橋など）については、通路の嵩上げなども進めていきます。



蔵前橋下の通路。極端に幅が狭くなっており、すれ違いが困難である。  
蔵前橋に上がるのも階段しかない。この部分で車椅子や自転車が通行するのは難しい。



両国付近の堤防上通路。堤防がもう少し低いと見晴らしが格段に良くなる。堤防を低くすることは難しいので、安全性に配慮しながら通路を嵩上げすることも考えられる。

### 通路の嵩上げのイメージ（一例）

<p>現 状</p>		<p>堤防により隅田川が良く見えないため、歩く楽しみが半減してしまう。</p>
<p>嵩 上 げ</p>		<p>嵩上げすることで、開放感が増し、歩いて楽しい空間が生まれる（写真は隅田公園付近）。</p>

#### (4) 魅力的な施設・空間の整備

##### 公園等の再整備

高速道路下などに設置されている利用性の低い小公園等のあり方を、地域住民なども交えて再検討します。

高速道路下の公園については、騒音等を逆手にとって、例えば、フットサルコート、スケートボード場、ドッグランなどとして再整備することも考えられます。



高速道路下には公園があるが、緑がなく、利用者もあまり見られない。  
写真左は吾妻橋公園。写真右はこまどり児童遊園。

##### 高速道路下の活用事例



フットサル場  
(中央区隅田川沿い)



スケートボード練習場  
(新横浜公園スケボー広場)  
(写真出展：Photo-Army H P)



グラウンドゴルフ場  
(墨田区豎川親水公園)



ドッグラン  
(横浜市青葉区)  
(写真出典：横浜市 H P)



ウォールクライミング  
(幼稚園への設置例)  
(写真出典：クライミングウォール H P)



テニスコート  
(墨田区豎川親水公園)

## 水辺アクセス拠点の整備

主要な橋詰などを水辺のアクセス拠点として位置づけ、人を集める様々な工夫を行い、より魅力的な空間として再整備します。

例えば、緑豊かな休憩スペース、オープンカフェ、トイレ、展望台(広場)などの整備が考えられます。



両国橋たもには両側に広い空間がある。ここを有効に活用して、橋詰広場を整備することも考えられる。例えば、水辺をゆっくり眺められるスペースを確保するとともに、親水テラスへ降りるスロープなどを整備し、オープンカフェなどを誘導することも可能である。

### 橋詰広場等におけるオープンカフェの事例

#### 【橋上のオープンカフェ(アムステルダム)】

橋上に歩道空間に開設されたオープンカフェ。  
道路からも水辺からも良く見えるため、人を集めるには好都合である。



#### 【橋詰広場のオープンカフェ

#### (フランクフルト)】

フランクフルトのメイン川沿いの橋詰め広場に開設されたオープンカフェ。  
堤防上ではフリーマーケットが開催され、多くの人で賑わっている。



## (5) 歴史・文化資源の活用

### 旧安田庭園の再整備

旧安田庭園は、前回の改修から 34 年を経過したため、潮入の再生を含めた再整備を行います。

この庭園は、下野足利藩の本庄氏の屋敷のあった場所で、安政年間（1854～1860）に隅田川の水を引いた潮入り回遊式庭園として造られ、規模は小さいものの、江戸名園の一つに数えられていた。

明治維新後の 1892（明治 25）年に安田財閥の創始者安田善次郎の所有となったが、1922（大正 11）年に東京市に寄付され一般公開された。

現在この庭園では、地下に約 750 m<sup>2</sup>の貯水槽を作り、水槽を利用して池の水を浄化するとともに、人工的に干満を行い、潮入りを再現している。園内には飛び石や洲浜などがたくさんあり、干満によって庭園の風景が変わるようになっている。



### 新たな観光資源の掘り起こし

隅田川沿川地域の回遊性を高めるため、寺社などの古くからの資源と公園などの比較的新しい資源を上手く組み合わせたり、墨田区ゆかりの著名人などの要素も加えたりしながら、観光資源の掘り起こしを行っていきます。

#### 沿川的主要な歴史・文化資源

- ・ 江戸東京博物館
- ・ 両国国技館
- ・ 多聞寺（隅田川七福神）
- ・ 木母寺
- ・ 隅田川神社
- ・ 白鬚神社（隅田川七福神）
- ・ 向島百花園（隅田川七福神）
- ・ 長命寺（隅田川七福神）
- ・ 弘福寺（隅田川七福神）
- ・ 三田神社（隅田川七福神）
- ・ 牛島神社
- ・ 回向院
- ・ 江島杉山神社 など

#### 区ゆかりの著名人

- ・ 葛飾北斎（浮世絵師）
- ・ 勝海舟（政治家）
- ・ 幸田露伴（作家）
- ・ 永井荷風（作家）
- ・ 芥川龍之介（作家）
- ・ 堀辰雄（作家）
- ・ 鈴木清順（映画監督）
- ・ いかりや長介（俳優）
- ・ 滝田ゆう（漫画家）
- ・ 大橋巨泉（タレント）
- ・ 王貞治（野球）
- ・ 木の実ナナ（女優）
- ・ 坂崎幸之助（歌手）
- ・ 福井晴敏（小説家）など

多聞寺



白鬚神社



隅田公園（王貞治）少年野球場



長命寺



向島百花園



（写真出典：墨田区文化観光協会HP）



## (6) 水と緑の景観整備

### 沿川市街地の景観整備

市街地と川との一体的な空間・景観形成を目指し、沿川市街地における景観形成ルール等を検討します。特に、水辺の賑わい拠点等においては、景観地区を指定するなど良好な街並みの形成を積極的に誘導するとともに、電線類の地中化を進めていきます。

#### 良好な水辺景観の事例



【メイン川（フランクフルト）の水辺景観】  
水と緑と調和した市街地の街並み。  
建物が川に顔を向けて建っている。



【アムステルダムの水辺景観】  
建物の形態、高さ、色調などの統一感がある  
すばらしい街並みである。

東京都では、下記のように隅田川全体での景観配慮事項を定めていますが、墨田区内ではこれを踏まえつつ、隅田川沿川市街地の特性を踏まえた、より具体的な景観の規制・誘導のためのルールを検討していきます。また、対岸の台東区や隣接する江東区などの景観との調和も重要であることから、相互に調整を進めていきます。

#### 都景観条例における「隅田川景観基本軸」と景観への配慮事項

東京都では、都景観条例に基づき、「隅田川景観基本軸」を設定しており、この景観基本軸内で特定行為（一定規模以上の建築や土地の開発等）を行おうとする事業者は、事業を計画する場合、「景観づくりの基準」の該当する項目に適合するよう努めることとなっている。  
具体的には、以下のような配慮事項が設定されている。

##### 【共通事項】

- 1 隅田川らしさを生かすための自然への配慮事項  
（広がりのある開放的な空間、連続する水際線、変化に富んだ河岸線、川沿いの緑）
- 2 隅田川らしさを生かすための歴史的・文化的環境への配慮事項  
（沿川の歴史的建造物等、界わいなどのまちなみ、歴史的庭園等、巨樹、古木等）
- 3 隅田川らしさを生かすための地域性への配慮事項  
（沿川の実地特性、まちのにぎわい、地域の産業、伝統行事、イベント）

##### 【個別事項】

- 1 建築物の建築に関する配慮事項  
（建築物の配置、高さ、規模、形態、意匠、素材、色彩、屋根、屋上、外壁、公開空地、外構等、敷地の緑化等、舗装、施設、サイン）
- 2 構造物の建設に関する配慮事項  
（構造物全般、巨大な構造物、連続する構造物、上空を覆う構造物）
- 3 区画形質の変更に関する配慮事項  
（土地利用、土地の区画の変更等、土地の造成等）

## 錦織りなす長堤づくり

地域住民などの協力のもと水辺空間の積極的な緑化を行い、唱歌「花」に謳われている「錦織りなす長堤」の再現を目指します。

墨堤上の桜について引き続き保全・育成を進めるとともに、公園、高速道路、親水テラス等を活用して、四季折々の草花を植え、季節毎あるいは大相撲の開催にあわせて、花にちなんだイベントを展開します。

### 錦織りなす隅田川のイメージ



かつての隅田川。積極的な緑化により、このような、のどかな空間と雰囲気を実現したい。



織物のように帯状に花が広がっている。(江東区 晴海運河左岸 越中島公園)

### 重点的な緑化が望まれる部分

#### 【吾妻橋周辺】

斜面部分等の植栽地に、複数の宿根草の花を植栽する(半日陰で生育し、群落を形成するスイセン、ヒガンバナ等)。



(写真出展：花づくり園芸館(小学館))

#### 【両国周辺】

テラスの舗装の上に、立体花壇等を設置する。



(写真出展：花の造園(経済調査会))

#### 【桜橋周辺】

斜面部分等の植栽地に、デザイン花壇等を植栽する。



(写真出展：花の造園(経済調査会))

#### 【水引き込み部分】

テラス側に水を引き込んでいる部分に、花が咲く水湿性植物を植栽する(群落を形成するカキツバタ、ショウブ等)。



## 大相撲開催期間に咲く“本場所の花”

大相撲の本場所が両国で開催される期間に咲く花を“本場所の花”として、積極的に活用

【初場所（1月）】

ロウバイ



上段(写真出展：花づくり園芸館(小学館))  
下段(写真出展：長瀬町観光協会HP)

【夏場所（5月）】

アヤメ



(写真出展：花づくり園芸館(小学館))

【秋場所（9月）】

ヒガンバナ



(写真出展：日高市HP)

## その他のアイデア等

【向島百花園のイベントと連携した花】

夏に行われる『大輪朝顔展』と連携して、テラス上など川沿いにアサガオの花を立体花壇などで咲かせる。



(写真出展：東京都HP)



(写真出展：花の造園(経済調査会))

【フローティング花壇】

イベント時などにはフローティング花壇を水面に浮かべることも考えられる。

【墨堤の桜の保全・育成】

墨堤の桜の保全と創出の一環として、サクラの根元に花を植えて立ち入り防止を図る(宿根草など)。



## 水辺のライトアップ

橋や水辺の主要施設などにおいて、ライトアップを行い、夜間景観を向上させます。  
また、期間を限定しての水辺テラスなどへのイルミネーションの設置なども進めます。



台東区側から見た区役所周辺の夜景。  
テラスにももう少し明かりがあっても良い。



ライトアップしている吾妻橋。  
テラスでは、イベントにあわせて簡易照明が設置されている。

## 水辺の美化

地域住民とも協力し、水辺の清掃・美化活動を行います。  
また、高速道路の景観・騒音対策、水質の向上などについても改善を図ります。



(写真出典：国土交通省酒田河川国道事務所HP)

## 隅田川アートギャラリー

隅田川の堤防壁、高速道路の橋脚をキャンバスに見たてて、隅田川にふさわしい絵などを描きます。

また、親水テラス、堤防沿いの通路、広場などに、アート作品の設置を進めます。

### 壁面を利用したパブリックアートの事例

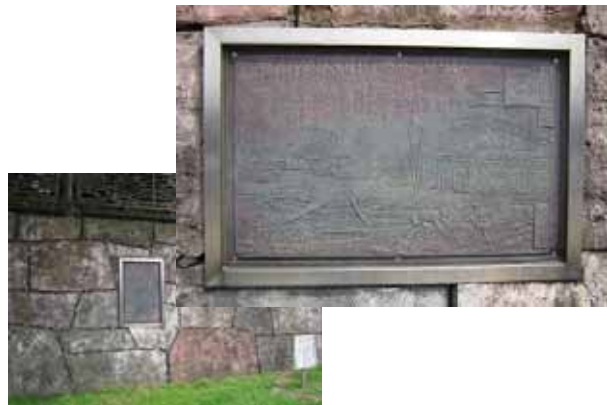
大横川親水公園内のウォールアート。すみだの昔話などが絵で示されている。



中央区大川端リバシティ周辺の親水テラスの護岸(壁面)に埋め込まれたレリーフ。かつての水辺の様子などが描かれている。



新潟県糸魚川市の親不知ピアパーク(高速道路下の公園)の橋脚を利用した壁画。  
(写真出典: トータル・ランドスケープ&サイン、Elements & Total Concept of Urban Signage Design)



### 路上に設置されたパブリックアートの事例



新宿アイランドタワーの  
パブリックアート。



東京都庁の  
パブリックアート。



## (7) 水辺のイベントの充実

### 水辺のオープンカフェの開設

隅田川沿いの広場やオープンスペースを活用して、民間運営によるオープンカフェ、茶屋などを開設します。

オープンカフェイメージ  
区役所前の広場を活用したオープンカフェのイメージ。



浅草側でのオープンカフェ  
浅草側の親水テラスで実施されたオープンカフェの様子。テラス上で、ビール等が販売された。



### 桜橋周辺の現況

台東区と墨田区を結ぶ重要な歩行者ネットワーク上の拠点であり、休日は散策などを楽しむ人で賑わう。ゆとりある空間を活かし茶屋などの設置が考えられる。



### メイン川(フランクフルト)のオープンカフェ等の事例



【水上レストラン】  
メイン川(フランクフルト)に設置されている水上レストラン。

【河川敷の仮設店舗】  
比較的コンパクトなコンテナが、広がりのあるオープンカフェに変身していく。



## 水上ステージの設置

各種イベントの舞台として、水上ステージを設置します。

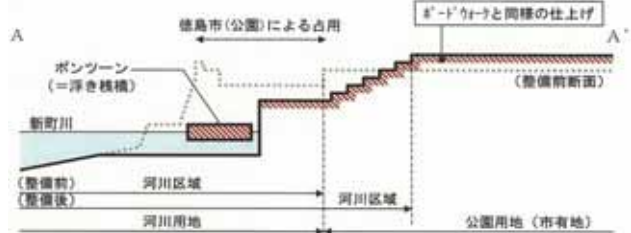
この水上ステージやオープンカフェを中心に、水上コンサート、水辺ライブ、薪能など、様々なイベントを実施します。

### 水上ステージにおけるイベントの事例

#### 【徳島市新町川の水上市場とイベント】

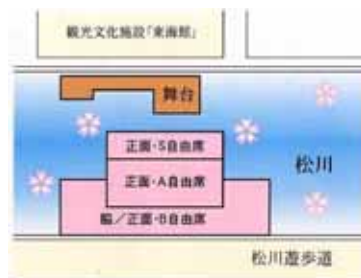
新町橋袂東詰公園の水上市場を利用したイベントの様子。

(出典：「河川を活かしたまちづくりに関する検討業務報告書」(平成14年3月 財団法人リバーフロント整備センター))



#### 【伊東市松川の水上市場での薪能】

毎年5月下旬に主開催される「祐親まつり」において河川内で繰り広げられる薪能と郷土芸能は、NPO法人が主催する意義ある行事として高い評価を得ている。



(出典：NPO法人 伊東市文化財史蹟保存会HP)

### フリーマーケット・市の開催

オープンカフェ、水上ステージの設置などにあわせて、吾妻橋周辺において、定期的にフリーマーケット・市などを開催します。

## 既存イベントの充実

花火大会、さくらまつりなど、隅田川で開催されている既存イベントの維持・充実を図ります。その際、民間事業者等とのタイアップを積極的に行います。

### 墨田区内の主なイベント等



墨堤さくらまつり



早慶レガッタ



### 艇庫の建設

隅田川をボート競技のメッカとして復活させるため、隅田川左岸において艇庫の建設を促進します。

艇庫のイメージ（加古川艇庫センター、写真出典：加古川ファンHP）





## (8) 案内性の向上

### 観光案内所の設置

隅田川を軸とした観光について広くアピールするため、主要駅やその周辺で観光案内所等の設置を進めます。当面は、JR 両国駅、JR 錦糸町駅、吾妻橋、桜橋付近で設置を考えます。

#### 駅の中での観光案内所の事例



仙台駅構内の駅総合案内所。内部にはカウンターのほか、道路情報案内とバス総合案内の端末が設置されている。



八戸駅に併設された「はちのへ総合観光ぷらざ」。観光案内所での対面案内をはじめ、展示による八戸地域の紹介、インターネットやタッチパネルによる各種情報検索収集ができる。

### 案内板等の充実

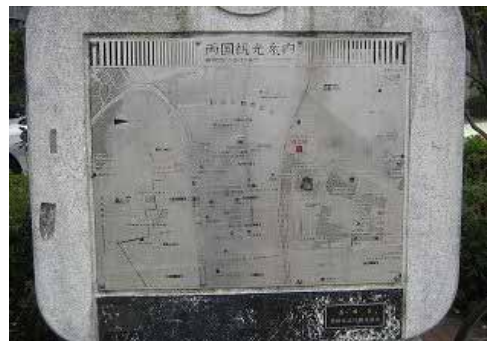
隅田川を軸とした観光について広くアピールするため、主要な駅や交差点、主要施設などに分かりやすい広域案内板、案内標識等の設置を進めます。

また、観光ルート等を分かりやすく示すため、ルート上の歩道のカラーリングや案内タイルの埋め込み等も進めます。

高齢者や外国人などへの分かりやすさや街並みとの調和に配慮するとともに、IT技術活用等を活用した新たな情報提供の方法も検討していきます。



浅草駅周辺の観光案内板。台東区側しか表示されていない。台東区側との調整・連携により、墨田区側も表示した案内板をそれぞれの区内に設置することが望まれる。



両国駅前の観光案内板。かすれていて良く見えない。高速道路は表示されているが、隅田川の親水テラスは表示されていない。隅田川の存在をアピールする、わかりやすい案内板が望まれる。

### 絵タイル等による案内誘導の事例



千葉県千葉市のおすみヶ丘の歩道に設置された絵タイル。

しりとり絵タイル、歴史解説絵タイル、ジョギング絵タイルなどがあり、楽しく歩ける工夫がされている。

(写真出典：トータル・ランドスケープ&サイン、Elements & Total Concept of Urban Signage Design)



### 隅田川の橋の銘板の設置

隅田川に架かる橋に対する関心を高めてもらうため、各橋に銘板を設置します。

## (9) 区民、事業者等との協働

### 隅田川再生専用ホームページの開設

隅田川の再生に関する専用ホームページを開設し、各種情報受発信を行います。

### 隅田川水辺フォーラム等の開催

隅田川の再生について議論するためフォーラム等を開催します。

### 隅田川再生に携わる組織・人材づくり

区民、NPO、企業等と連携し、隅田川の再生を進行管理する組織づくりを行うとともに、それに関わる人材育成を行います。

## 観光ボランティアの組織化

区民等からボランティアを募るなどして、隅田川や隅田川沿いの資源を案内する“隅田川水辺案内人”などの観光ボランティアの育成、組織化を図ります。

### すみだガイド

「墨田区文化観光協会」では、平成 15 年 10 月から「すみだガイド」(すみだ観光ボランティアガイド)を実施している。墨田区の住民等がボランティアとして同行し、すみだの街を「もてなしの心」で案内するものであり、概要は以下のとおり。

申込みできる方：観光のため墨田区内を訪れる、10 人程度までのグループ・団体。

ガイドする場所：当分は、両国地域と向島地域（墨堤沿い）。

ガイドの内容：観光場所への誘導と簡単な名所紹介。

ガイドの時間：概ね午前 10 時から午後 4 時までの間。案内時間は一組 2 時間程度以内。

ガイドの謝礼：不要。

申込の期限：利用日の 10 日前まで、電話・FAX・郵便又は窓口来所で。

申込・紹介先：墨田区文化観光協会。

## 墨田区文化観光協会との協働

隅田川水辺空間の様々な施策を実現するために、区との良きパートナーとして、文化観光協会の積極的な参画とタイアップを求めています。

特に、区内の観光事業者との連携を図り、隅田川水辺空間に関連した人づくりをはじめ各種イベント、情報の収集、提供などの機能を期待します。

## 事業者等に対する支援

隅田川での様々な活動や事業に、民間事業者などが参加しやすくするため、優遇・特例措置など、各種支援策を検討します。

## (10) 東京都、台東区、その他関係機関等との連携

### 連携事業の実施検討

東京都とは、堤防整備や親水テラス整備などについて、相互に連携・協力して事業を進めます。

台東区とは、レンタサイクル、巡回バス、イベントのほか、観光案内（観光案内所の運営、案内板の設置、観光マップの作成等）について、共同（連携）事業化を呼びかけます。

さらに、台東区、江東区等と連携して、高速道路の地下化の実現、水上交通の充実や良好な水辺景観の形成などに向けた検討・調整を進めていきます。

この他、ホームレス対策等関連施策について、関係機関と連携して、推進していきます。

## 7. 施策の推進プログラム

前述した施策（取組み）を、全て一時期にすること、あるいは全て行政の力ですることは困難です。このため、ここでは、それぞれの施策を“いつ”“誰が”やるかを“施策の推進プログラム”として明らかにします。

### (1) 基本的な考え方

推進プログラムを作成するにあたっての基本的な考え方は、次のとおりです。

#### 施策の時期

施策の時期は、次のように短期、中期、長期に区分します。

短 期：概ね5年以内に着手する取組み
中 期：概ね10年以内に着手する取組み
長 期：概ね10年以降に着手する取組み

なお、施策の時期は、次のような視点から、施策毎に優先度評価を行い、決定します。

必要性：水辺を生かしたまちづくりに対する効果が高いか
容易性：簡単にできる取組みか、検討、調整等に時間がかからないか
実現性：区の計画に位置づけられているか、財源などの裏づけがあるか、多大な費用がかからないか、区民や事業者の理解や協力を得やすいか

：特に高い、　：高い、　：あまり高くない、×：高くない

#### 施策の主体

施策の主体は、次のような考え方にに基づき区分します。

行 政：区、都、国。都や国が整備・管理する施設等に関する施策については、その実現に向け、区から都や国に働きかけをしていく。
区 民：区民、町会・自治会、NPO等の各種団体など
事業者：観光・商業事業者、交通事業者ほか各種事業者など

：中心となって取り組む、　：取組みに支援、協力する

### (2) 施策の推進プログラム

このような考え方にに基づき作成した推進プログラムは、次のとおりです。

施策の推進プログラム

施策目標	施策項目	場所等	優先度評価(*1)			取組み時期			取組み主体(*2)		
			必要性	容易性	実現性	短期	中期	長期	行政	区民	事業者
水辺と市街地との一体的な空間形成	高速道路の地下化	全体		×	×				(国・都・区)		
	高規格堤防の整備	全体		×	×				(都)		
	沿川道路の地下化	隅田公園付近							(都)		
	東武鉄道高架下の活用	北十間川沿い							(区)		
アクセス性・回遊性の向上	新たな船着場の整備	吾妻橋防災船着場							(区)		
	水上バスルート等の充実								(都・区)	(NPO等)	
	北十間川～隅田川の舟運	北十間川							(都・区)	(NPO等)	
	巡回バスの導入	吾妻橋、両国、隅田公園など							(区)		
	レンタサイクルシステムの整備	吾妻橋、両国、隅田公園、浅草、桜橋など							(区)		
水辺の歩行者ネットワークの充実	歩道、フットパス等の充実	全体(特ににぎわい拠点間を結ぶルート)							(都・区)		
	親水テラスへのスロープ等の充実	両国橋～言問橋(重点検討区間)							(都)		
	親水テラスの充実	未整備区間							(都)		
	堤防上のネットワークの充実	全体							(都・区)		
魅力的な施設・空間の整備	公園等の再整備	こまどり児童遊園など							(区)		
	水辺アクセス拠点の整備	蔵前橋、厩橋、駒形橋など							(都・区)		
歴史・文化資源の活用	旧安田庭園の再整備	旧安田庭園							(区)		
	新たな観光資源の掘り起こし								(区)		

(\*1) 施策の優先度 : 特に高い、高い、 : あまり高くない、× : 高くない  
 (\*2) 施策の取組み姿勢 : 中心となって取り組む、 : 支援、協力する

施策の推進プログラム

施策目標	施策項目	場所等	優先度評価(*1)			取組み時期			取組み主体(*2)		
			必要性	容易性	実現性	短期	中期	長期	行政	区民	事業者
水と緑の景観整備	沿川市街地の景観整備	沿川市街地							(区)		
	錦織りなす長堤づくり	沿川							(区)		
	水辺のライトアップ	橋、主要施設など									
	水辺の美化	沿川							(都・区)		
	隅田川アートギャラリー	沿川							(都・区)		
水辺のイベントの充実	水辺のオープンカフェの開設	吾妻橋、両国、桜橋周辺など							(区)		
	水上ステージの設置	吾妻橋周辺など							(区)		
	フリーマーケット・市の開催	吾妻橋周辺など							(区)	(NPO等)	
	既存イベントの充実	全体							(区)		
	艇庫の建設	桜橋周辺							(区)		
案内性の向上	観光案内所の設置	吾妻橋、両国、桜橋など							(区)		
	案内板等の充実	区内							(区)		
	隅田川の橋の銘板の設置	区内							(国・都・区)		
区民、事業者等との協働	隅田川再生専用ホームページの開設								(区)	(NPO等)	
	隅田川水辺フォーラム等の開催								(都・区)	(NPO等)	
	隅田川再生に携わる組織・人材づくり								(都・区)	(NPO等)	
	観光ボランティアの組織化								(区)		
	墨田区文化観光協会との協働								(区)		
	事業者等に対する支援								(区)		
東京都、台東区、その他関係機関等との連携	連携事業の実施検討								(都・区)		

(\*1) 施策の優先度 : 特に高い、 高い、 :あまり高くない、 ×:高くない

(\*2) 施策の取組み姿勢 : 中心となって取り組む、 : 支援、協力する

## 【参考】構想策定委員会名簿等と構想策定経緯

隅田川水辺空間等再整備構想策定委員会名簿

区 分		職 名 等	氏 名
会 長	学識経験者	明治大学公共政策大学院教授	青山 侖
副会長	水運事業者	財団法人東京都公園協会理事長	山下 保博
委 員	バス事業者	株式会社はとバス代表取締役社長	横溝 清俊
	観光関係者	墨田区文化観光協会観光プロデューサー	千葉 良規
	区 民	両国協会の副会長	蛭間 明珠
	区役所関係者	墨田区企画経営室長	岡田 貢

隅田川水辺空間等再整備構想策定庁内検討会名簿

区 分	職 名 等	氏 名
会 長	企画経営室政策担当課長	岸本 佳巳
メンバー	地域振興部文化振興課長	中山 誠
	都市計画部都市計画課長	渡邊 正雄
	都市計画部都市整備担当都市整備課長	小山 季廣
	都市計画部都市整備担当拠点整備課長	池田 成美
	都市計画部都市整備担当土木管理課長	鶴間 純治
	都市計画部都市整備担当道路公園課長	渡辺 茂男

構想策定経緯

月 日	会議等	主な議題等
H17.7.29	第1回構想策定委員会	・ 委員委嘱及び会長・副会長の選任 ・ 構想策定の基本方針について ・ 流域、後背地等の資源及び課題について
H17.8.11 ~9.1	意見募集（第1回）	・ 水辺空間の活用に関するアイデア等の募集 （区ホームページ、すみだ区報）
H17.9.15	第1回構想策定庁内検討会	・ 構想案の骨子について
H17.9.26	第2回構想策定委員会	・ 構想案の骨子について
H17.11.11	第2回構想策定庁内検討会	・ 構想素案について
H17.11.30	第3回構想策定委員会	・ 構想素案について
H17.12.21 ~H18.1.20	意見募集（第2回）	・ 構想素案についての意見等の募集 （区ホームページ、すみだ区報）
H18.2.1	第3回構想策定庁内検討会	・ 構想原案について
H18.2.20	第4回構想策定委員会	・ 構想原案について

## 隅田川水辺空間等再整備構想 平成18年3月

---

【発行】：墨田区

〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋一丁目 23 番 20 号

TEL. (03) 5608-1111 (代)

【編集】：墨田区企画経営室政策担当

TEL. (03) 5608-6231 (直)

【調査】：日本技術開発株式会社

〒164-8601 東京都中野区本町五丁目 33 番 11 号

TEL. (03) 5341-5151 (代)

---





ふれあい活力 ゆとり

すみだ

